

令和4年度 第9回定例(12月)教育委員会議 会議録

令和4年度第9回定例教育委員会議が、令和4年12月20日(水)午後2時30分に役場第5会議室に招集された。

議 事 日 程

- 第1 開 会 午後2時30分開会
- 第2 教育長挨拶
- 第3 令和4年度第8回議事録の承認 承認
- 第4 教育長活動報告(別紙資料)
- 第5 報告事項
- 報告1 令和4年度第4回定例村議会案件について 了承
- 報告2 給食センター実施設計業務に係る報告について 了承
- 第6 審議事項
- 審議1 令和4年度第4回定例村議会案件について 承認
- 審議2 猿払村奨学資金貸付対象者(奨学生)の決定について 承認
- 第7 活動計画 令和4年12月21日(木)~令和5年1月26日(木)までについて . . 承認
- 第8 協議事項
- 協議1 令和4年度第1回総合教育会議の開催について 承認
- 協議2 次回教育委員会議の開催について 承認
- 第9 閉 会

午後3時30分閉会

議事録署名委員

原 本 署 名 済

議事録作成職員

教育次長 阿部 孝好

第9回定例(12月)教育委員会議出席者名

〔出席委員〕	教育長職務代理者	楡 物 誠	
	委 員	榛 澤 弘 章	
	委 員	近 野 由 恵	
	教 育 長	眞 坂 潤 一	
〔出席職員〕	教 育 次 長	阿 部 孝 好	
	給食センター所長	西 口 亮 一	
	教 育 指 導 員	浅 野 孝 一	

○阿部教育次長：学校訪問お疲れ様でした。それでは、『第9回猿払村教育委員会議』定例の会議を始めさせていただきます。教育長よりご挨拶致します。

○眞坂教育長：はい。学校訪問に引き続き、お疲れ様です。鬼志別小学校の子ども達、2学期ということもあるんですけど、非常に各学年とも子ども達落ち着いてしっかり授業に集中しているなという姿が良かったかなと。5年生のiPadの活用についてはものすごいものだなと。とてもあの私は追いつけないなという感覚を見てました。先生も上手く子ども達の活用も含めてですけど、授業をしっかり作って勉強されているなあという思いでいます。こういった先生、個々のそれぞれの得意分野もあると思います。不得意もあると思いますので、そういった面では校長も言っていましたけど、研修活動を行なって学校全体で広めていきたいと、いうことについては委員会としても是非応援したいというふうな考えであります。今日は年末の忙しい時期ということもあって、報告・審議それぞれ次長の方から説明をさせていただいて、この会議を進めて参りたいというふうに思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

○阿部教育次長：はい。前回の『第8回の議事録の承認』をいただきたいと思います。確認をいただけていたかと思っておりますので、署名いただきますようお願いいたします。

《各委員署名》

○阿部教育次長：はい。ありがとうございます。それでは『活動報告』資料1番になります。教育長より行います。

○眞坂教育長：はい。それでは資料1をご覧ください。11月25日から本日までの活動報告であります。主だったものだけご説明して報告とさせていただきます。11月25日です。これからの高校づくりに関する指針というのが北海道から出されました。大きく改訂されるという内容の説明会がこの日行われまして、Web形式ですが、私参加しております。宗谷管内でも離島の礼文高校、利尻高校。そして豊富高校、浜頓別高校、枝幸高校と、なかなか生徒数が集まらないという悩みを抱えている学校はやはり管内でも多いです。そういった部分での今後の高校の在り方の方針等が定められている指針という形になっております。道のホームページ等でも教育委員会のホームページ等でも指針が、公開されていますので、もし、興味がある方については見ていただければと思います。今のところ管内で大きく変動する様子はないんですけど利尻高校で商業科が廃止されて2間口から1間口になるというのが、令和5年度の募集からしないのか、そういうような形になる予定であります。11月29日です。管内の先生方の働き方改革の推進会議というものが行われていまして、それもWebの形式で私参加しております。先生方の時間外の扱いですけども、やはりまだまだ多い部分が見られるという。特に教頭職でそういう傾向は強いというのが、やはりみられます。そういったものを今後どう解消していくかという部分も含めての会議が招集されております。それから、11月30日ですけども、先程ちらっとお話した浜頓別高校の生徒さんを是非獲得したいということで、高校の校長先生と浜頓別町の教育長さんが村を訪れまして、村長と私と一緒に話しをいたしました。一間口40人ですけども、30人弱。切ったり、切らなかつたりということで、

猿払村も拓心中学校の卒業生のおおよそ3分の1程度が浜頓別高校に行っており、これまで通っている形になっているんですけども、その年によって増減があるんですけど、非常に40人を確保するのが難しいという状況でなんとか中頓別、猿払を含めてですけども、子どもたちが通いやすい体制を行政として考えて欲しいという要請がありました。本村としても定期の部分では8割補助と12か月分。過去に近野委員の子どもたちが通っている頃と比べると遥かにいい条件なんですけど、そういった形で、中頓にしる猿払にしる努力はしているけどもなかなか生徒が浜頓別高校に向かわないという状況ですが、なんとか光を見出したいというのが思いであります。12月4日です。宗谷管内の子ども会連合会。本村の子ども会もそちらの方に加盟しております、総会が開かれております。これもWeb形式で事務局を持っています教育委員会の職員が参加しております。12月5日生徒指導連絡協議会。小中学校の生徒指導にかかる先生方にお集まりをいただいて各学校の状況等を話し合うという会議であります。ご承知だと思っておりますけども、つい先月になりますか、〇〇で〇〇からの働きに来ている方を受け入れている〇〇さんなんですけども、そこのお子さんが宿舎で騒いでしまって、休憩中の〇〇がそれに腹を立てて刃物を出して叱りつけたという事件があって、報道されて、ニュースになった経過があります。〇〇の小学校に通うお子さん2人と保育所の子どもさん一人だったんですけど、その後子供たちは学校に通常どおり通っていて、学校の先生のお話ですと、大きな変化はないということで少しほっとしております。当事者の〇〇からの働きに来られている方については〇〇をしたということで、そこ〇〇からはもういないということで報告を受けているところです。そういった関係のいろいろな話題を、各校の話題をこの会議の中で報告しあっております。それから、12月6日ですけども、久しぶりに集まって文化財保護委員会。旧猿払校舎を会場に行いました。久しぶりに集まって委員さんといろいろな話しをしております。同じく12月6日ですけども、令和5年度の人事にかかる教頭職と一般職の宗谷教育局の面接ということで次長さんそれから課長さんが見えられて、それぞれ異動対象となる先生との面接を行っております。それから同じ日の夕方。18時15分からは、例年実施しております体力測定会を農環センターを会場に行いました。それから12月7日、8日には定例村議会2日間で行なわれました。上程された教育関係の部分については全て承認をされております。12月8日。議会終わった後ですけども、総務経済常任委員会で今日の議題の方にも報告の方にもありますけれども、給食センターの改築に関わる部分の報告という形で議員さん全員にお話をしました。詳しくは後ほど所長の方からご説明をするような形になろうと思っております。12月13日情報教育推進委員会ということで、各学校で情報教育に関する部分の様々なiPadの活用ですとかそういった部分の協議をこの会議の中で行っております。それから、15日と19日ですけども、未来塾、4月から始めていますけれども、そこで講師をしている教育大の学生さんと座談会という形でうちの職員と教育大の学生さんと座談会を2回に分けて実施をしております。それから16日ですけども、来年の新1年生にかかる知能検査、専門検査等の結果を基に教育支援委員会の第2回目の委員会をこの日開催しております。それから、村営スキー場ですけども19日に安全祈願祭を実施しました。今のところ24日土曜日になんとかオープン出来たらということで準備を進めているところであります。昨日ですけども、毎年給食の食材の提供をいただいている漁業協同組合さん。それから蟹部会それから鮭部会そしてそういったものを預かっていただいている異冷凍さんの方に今年も1年ありがとうございますというお礼を含めてですね、私と所長とで回って参りました。来年も引き続きご協力をお願いしたいという部分でお願いをして参りました。本日学校訪問とこの会議という形になっております。以上です。

○阿部教育次長：はい。続いて『報告事項』2つあります。まず1つ目です、『令和4年度第4回定例村議会案件について』ということで資料2番。2つ。2-2ということと2つあります。全て原案の通り可決されております。前回の会議の中で詳しく説

明出来ませんでしたので、今回補正した内容を簡単にご説明したいと思えます。資料2になります。上から1段目、2段目については電気料の増加が止まらないということで学校の電気料金の予算が足りないというところで補正をさせていただいております。電気料金だけでなく灯油代もかなり値上がりといえますか今日も訪問されて分かったと思うんですけど、廊下との戸を開けているんですね。あれどうしてかという換気のためなんですけども、当然そういうことで暖房の効率がやっぱり悪くなっていつも以上に、昨年もそうだったんですけども灯油を焚いてしまうというところもありまして、灯油代の節約が難しい部分があります。そういった部分で3月にはまた灯油代の補正も必要になるかなと思っているところです。中段です、農村環境改善センターにトレーニングルームがあるんですが、そちらにかなりコロナ禍ということもあって、個人で運動に励む方が多い状況になっています。利用実績も実際には利用されている方も結構いるというところもありまして、そちらの方は元々センターの開設当初からある複合器具の他に住民の方からいただいた、もう使わなくなったのでということで、いただいたランニングマシンですとかそういった器具を置いているんですけども、やはり皆さんこちらの方に、ランニングマシンでジョギングだったりランニングだったりウォーキングだったりということで、そちらの利用が多いというところで、貰い物のランニングマシンがですね、故障で安全に運転出来ない状況にもありますというところもありまして、2台、この冬にやはり屋内での運動の利用者が増加するのではないかとということで、住民の要望もかなり強くありまして新たに2台設置をする予定であります。その下です。記念品代、食料品代ということでなんとか2月に、ここ2年開催をしておりますませんでしたサークルボール大会を開催したいということで、大会の開催費用を補正させていただいております。その下、柔剣道場・体育施設なんですけど、こちら暖房機が故障ということで、予算を補正させていただいております。一番下段、学校給食費給食センターの燃料代、先ほどの学校と同様にですね燃料代の支出の見込みが多いということで不足分を増加する補正を行っております。資料2-2をご覧ください。前回も口頭で説明させていただきましたが、松物誠教育委員さんが12月28日をもって任期満了となるということで、再任の提案をさせていただいて議会の中でも同意を得られておりますので、改めて4年間ということでもよろしくお願ひしたいと思います。報告事項は以上となります。ごめんなさい。まず一つ目は以上となります。続いて報告の2ということで、給食センター、今年、今年度来年の建設に向けて実施設計業務を行っておりますが、そちらの方を議会にも説明をしたところですが、教育委員さんにもこの説明した内容を把握していただきたいということで資料をつけさせていただいております。所長の方から説明をしていただきたいと思えます。

○西口所長

：お手元にホッチキス留めした資料3というのがあると思えますので、ご用意いただきたいと思えます。新しいセンターの建築来年から始まりますけれども、その中で再生可能エネルギーどうしようかというところでもずっと検討して参りました。昨年は、庁舎内の関係係長を集めた検討会議というのも以前報告をしたと思えますが、その中では雪氷冷熱というところで導入してはどうかっていうことで引き続き実施設計の中で協議しようということになっていまして、今年色々協議しましたけれども、雪氷冷熱ですと費用対効果をというところがなかなか難しいというところで、理事者の判断の下、導入を見送ったとこであります、その報告を11月頭にですね4日だったかな？議会の方に報告をさせていただきまして、それを踏まえて議会の方からはもっと他の再生可能エネルギーもあるというところで、今一度検討しなさいということでご指摘をいただきまして、ここに記載の3点について再度協議検証させていただきました。①に液化天然ガスLNGと呼ばれているものですが、御存じかと思えますが、これはクリーンなエネルギーということで今注目をされている天然ガスなんですけど、日本にはほぼオーストラリアが中心ですけれども、約96%輸入していると。北海道では石狩に基地がありまして、そこに輸入されたものを札幌市の都市ガスですとか旭川の都市ガス。それから全道各地に輸送して利用されて

いると1枚めくっていただくとA3で折ってありますが、カラーで印刷したLNGの供給体制というところがありますので、そちらの方が分かりやすいのでこちらで説明させていただきますが、先ず、LNGの供給体制、今言った通りこの中間にあります北海道ガスの石狩LNG基地っていうところ、ここに海外から輸入された液化天然ガスが入ってきます。ここに大きなタンクがありまして、ここから函館と釧路の2次基地にはまた船で運んでいくと。北見にも2次基地というものはあるんですけども、ここには釧路から陸送されている。石狩からは札幌市や旭川市等々全道各地にローリーで運ばれて利用されているというのが今現状です。陸送した後、船で運ばれた後どうなっているのかというのと、この右側のページでLNGのサテライト供給というのがあります。ここには工場とか大きな工場によく使っているんですけども、そこの敷地内、ほぼ敷地内にサテライト基地というものを作らなければなりません。で、そこで運ばれてきたガスを保管し、工場とかに引き込んで利用するっていうのが一応今使われているやり方です。裏面を見て欲しいのですが、このサテライト基地ってどんなの？っていうところに記載のタンクローリーが横付けされて結構な面積が必要なんですけども、その施設で使う量に合わせた大きなタンクを用意して、施設内に引き込むという形になります。右側にこのローリー。見たことある方いらっしゃるかも知れないですけど大きいのは本当に大きいですね。ですので、このローリーを使って運んでくるという形になります。実際猿払村ではどうなんだろうというところで、1枚目のA4の本村への導入について、中段にあります。うちで導入した場合は約年間28トンほど使うということで、実施設計の業者から北海道で扱っている北海道ガスとエア・ウォーターって会社聞いたことあるかも知れませんが、両方に導入について聞いていただきました。一回の配送料は石狩から運んでくる量としては0.5トン~1.5トン程度。5日~半月分を予想すると。石狩から猿払までの配送時間は、ローリーに充填する時間を含めると15時間以上の行程かかると。小型ローリーでも一番小さいので6トン積みになるので、この1回の配送料の分を考えるとうちのセンターと同じぐらい使用する施設がもう2,3件必要だとその分を運んで6トン車で運ぶと。なので、配送コストが非常に大きくなると。実際にこの小さな3トン未満で長距離輸送している事例はないと。難しいということですね。今は主に大きなローリーにたくさん積んで、1回に大量に運んでそれぞれの基地に配給して使ってもらおうというような運賃コストを抑える意味でやり方としてはメジャーというところでここに★印ありますが、猿払村の消費量や立地条件から他の燃料、重油などをお勧めしますとはっきり言われました。それを踏まえてですね、輸送コスト、設計業者と協議したんですけども、輸送コストが非常に大きいということと、裏面にいきますとサテライト基地、新しい給食センターが出来た横に、近くにサテライト供給基地を作らなきゃならないということですね。それは民家が近いとダメっていうルールがあるみたいなので今作る施設、建設場所からするとなかなか場所がないかなというのの一つ。今言いましたね、スペースが必要なのと、住宅から離隔距離が必要だというところが協議結果ということでありました。2点目として太陽光発電です。これも当初から色々考えてはいたんですが、全国的にもかなりの導入実績があつてですね、本村でも一般家庭で導入されている方も見受けられます。一方でかなり早く導入された方は更新時期に来ている方もいて、そのパネルの処分が課題になっているというところで私もテレビで見ましたけど、報道で見受けられているところが現状かなと思います。新しい施設に導入する場合は、既に実施設計も終了していますので、メンテナンスなんかも考えると、建物の屋根につけるとかではなくて敷地内。建物とは別に設置することが有効かなというところですよ。お手元の資料の後ろから2枚目。またA3で折ったんだやつあるかと思いますが、イメージとしてはこういうふうに分ければということで検討しました。当初はここに、ここを雪捨て場にしていてこんなんですけども、ここに建ててはどうかというところで、設計業者に検討をしてもらいました。で、その結果ですね。年間で約42万ほど今の図面の前のページ。A4一枚挟んでいると思いますが、ページ

数ついてなくてごめんなさい。申し訳ございません。そのA4一枚の検討って書いてある、その一番下に422,822円の電気料金の縮減が出来る。今の施設で年間、月だいたい20万くらい掛かってますので、施設的に面積が倍になったり衛生管理上床暖を入れなければならないところあるんですけど、そう考えると月多分これより多いんじゃないかと予想されるんです。まだ積算はしてません。ですので、一カ月分も満たさないんじゃないかな。減額にならないんじゃないかと予想される場所です。またその更新時期に30年ほど見越したコストで5千万以上の更新費用が掛かるということでこの今のA4一枚の裏面に図面の前のメンテナンスコストの予想ということで、あくまで概算ですけども。予想される、経費も掛かるということが予想されるということです。それから、先ほど言った雪捨て場だったところもあるということもあるので、冬期間の影響についてもちょっと考慮する必要があるかなってところで協議したということです。もう一つ、3点目。蒸気排熱利用ということで、一枚目の裏面にまたお戻りいただきたいのですが、新しい施設では調理に使用する器具は蒸気を使う釜とか使いますので、蒸気ボイラーというのを設置します。今も使ってますけど。蒸気ボイラーから出る蒸気を再利用することが出来るということで、一番最後のページに検討をした資料があります。実際、効果としては本当に微々たるものですけども蒸気ボイラーを使うと煙突からかなり蒸気が出るんですよ。白い煙が出ます。それをかなり抑えることが出来るっていうところがあったり、本当に年間で1万7千円くらいしか効果は無いんですが、蒸気が見えると外部の近くに住宅もあるものですから、あまりいい感じしないのかなってところも踏まえて省エネに配慮した部分ではどうかなってところもありますけれども、白煙が大気に開放される場所は抑えられるのかなってところで協議の結果となりました。以上の3点検討した結果はここに記載書いていますが液化天然ガスの方には非常に難しいというところ、太陽光パネルはランニングコストなんかも考えて、予定した場所も冬期間雪捨て場とする予定としていた部分もありますので、施設がどのくらいのランニングコストがかかるかっていうところを3年間ぐらいいみて、引き続きこれは検討していきたいというところで新しい施設建設時の導入は見送りたいと。蒸気排熱は効果は少ないですけども、導入コストが低いということで採用は出来るんじゃないかなというところで協議結果として議会の方へ報告をいたしました。議会の方では毎月どのくらいの効果があったかという報告も欲しいというところもありましたし、太陽光も引き続き長い目でというところで色々指摘は受けましたけれども、なかなか敷地の場所、それから周りに自由な土地も無いっていう制約もある中で導入するっていうのはなかなか難しいのかってところもありますので、村全体の再生可能エネルギーの導入なんかも担当課を中心に色々これから協議も進むとは思いますが、さらに施設も入れてもらって何とか導入出来ればなっていう思いはありますけども。一応これまでの検討結果としては当初は蒸気排熱を利用させていただくというところで、進めていって将来的に太陽光発電など他のエネルギーも導入に向けて検討検証していきたいということで今のところ進めております。次長、補足があれば。

○阿部教育次長：はい。今、給食センターの改築を考える中で新しい施設には太陽光パネルを設置したりということが割と一般的にはなってますけども、その費用はシビアに考えていかなければならないということで、導入ありきではなくて是非も含めて検討した結果、今所長が言った通り設置時に新しい再生可能エネルギー設備を導入するのは見送りたいということでの検討結果を議会の方に報告させていただいたという流れになります。当然、これから一切何もしませんでなく、導入して効果のあるものについては考えていきたいというところで、新しい施設ですので、ゼロカーボンだとか、東京都では太陽光パネルを新築住宅に義務化するみたいな話もありましたけれども、時代の方向がそちらに進んでいる中でちょっと後ろ向きな内容にはなりますがやはりコストが厳しいというところと、意外と広いようでも新しい施設をあのスペースに収めると、図面を見ていただくと分かる通り余裕がないというところもはっきりでましたので、そ

ういった部分で周りに与える影響も加味しながらこのような形で進めていきたいというところを委員の皆様にもご理解いただきたいなというところで今日報告させていただいたところです。報告事項についてはこれにて終了となります。1番、2番通してこの件に関してご質問等ありましたらお受けしたいと思っておりますがいかがでしょうか。

- 松物委員 : この当初に計画していた雪を利用したのがありますよね？あれはもうダメだということなんですか？
- 西口所長 : ダメだということです。基本設計ではその方向でということで実施設計の中で最終的に結論を出そうという話しにしていたんですけども、色々検証した中で費用対効果というのがなかなか難しかったというのが正直あるんですよね。あと毎年雪を貯める、踏み固める、シート覆う全部委託しなきゃならなくなってくるのでその辺の経費がかなり掛かるということもあって理事者とも色々相談しながら見送ろうかって話で。それを議会に報告すると、LNGの話とか、太陽光の検討あど色々出てきたものですから。
- 松物委員 : はい。分かりました。後ですね、先程の灯油代金だとかそんな話しも出ましたので、先ほど鬼志別小学校へ行ったらストーブのブザーですかね？すごいうるさい教室がありましたよね？
- 阿部教育次長 : 最初に入った教室ですよ？完全にあれはストーブからの異常音なんですけど、大きな壁に2つあった真空式っていう今までのFFボイラーをあの形に更新したストーブなんですけども、故障が頻発してあれも異常運転状態の一つかなと思います。暖房は回っているんですけども、燃焼する際に部品が何かこう悪さして異音を発しているのは過去にもちょっとあったんですけど、あそこまでうるさいのはあまり聞いていませんでした。今回すごいタイミングで異音が鳴っているなどと思っていました。学校から朝方すぐに連絡は来てなかったんですけど、多分近くに座っていた子はきっと、話し声も聞こえない状況じゃなかったかなと思いますので、もちろん対処はしたいなと思います。よろしいでしょうか。
- 松物委員 : はい。
- 阿部教育次長 : はい。それでは報告を終了して『審議事項』に移らさせていただきます。まず一つ目資料4番です。こちらは本当に軽微な改正なんですけども、『拓心中学校の全道大会等出場補助金交付要綱の一部を改正する訓令』ということで、拓心中学校の部活動で全道大会、全国大会に出場する際にはそちらの経費を補助金として支出するというところで、遠征費については公費負担をしていたところです。実際に全額補助ということで交付をしておりましたが、今年から学校が取り扱う金融機関を通じて振り込んだり引き落とししたりという際に手数料の免除が廃止になったということで、前にも一度お話したことがあったかなと思うんですけども、そちらの関係で部活動の例えば大会参加費を事前に振り込まなければならないといったような場合に振込手数料が掛かるということで、こちらが今の補助要綱上、事務費については補助金の対象としておりませんでしたので、それを加えて基本的にはかかる経費の自己負担がないように改正をしたいということで、2枚目の新旧対照表をご覧くださいと思うんですけども、振込手数料、その他大会参加に掛かる必要な事務費について実費を支給するというのを加えます。これまでどうしていたの？というところですが、既に今年も何回か支出はしていたんですけども、実際には各部活動でクラブ活動費ということで保護者の方からお金を一定程度集めて活動費に充てるための口座を持って運営をしていた部分がありますので、大会遠征費については基本的には補助金で賄われるんですけども、そのやりとりの中で、数百円なんですけどもそちらを使っていたというところがありました。こちら実費を支給することを加えて全道大会に関係する、全国大会に関係する費用については、これで全額公費負担ができるかなというところで考えているところです。この様に改正をさせていただきたいと思っています。審議事項の2つ目も併せて説明をしたいと思っております。資料5番ご覧ください。村の独自の奨学金の申請が資料番号ふっておりません。奨学資金貸付申請書という資料になりま

す。今年度二人目の申請が上がってきました。〇〇高校の生徒さんです。春からこちらの大学に通う際に奨学金を申請したいということで、4年間の申請がありました。学校長の推薦書、そして成績見込書についても問題のない内容となっております。ということで今年度二人目になりますが、こちらの方の奨学金の貸付対象者ということで決定を承認いただきたいということでの提案になります。実は今相談を受けている方もお二方おありまして、取りあえず一旦、一次募集ということで先週の金曜日をもって終了したところですけど、この後については枠がある限り随時受け付けますということにしておりますので、最終的には全員申請が上がると4件。だいたい制度が浸透してきたということもあるのかなと思うんですけども、こちらの承認をいただければと思います。この2つについてなんですがいかがでしょうか。承認いただけるということで確認させていただきます。

○委員一同 : はい。

○阿部教育次長 : ありがとうございます。それでは7番の『活動計画』に移ります。資料6番ご覧いただきたいと思います。当面、1ヵ月の予定となります。23日明後日ですが、小中学校第2学期終業式の予定なんですけども、明日の夜から23日にかけて、暴風雪が予想されるということで、無事に23日を迎えられるかどうかちょっと微妙な状況となっております。予定どおりに進めば24日から25日間の冬休みに入りますが、鬼小を除きということで、鬼小学級閉鎖と臨時休業もあったということで、時数の関係で冬休みを2日間短縮するというところで実施を予定しております。この24日には村営スキー場のオープン予定日ということで10時から。このままですとちょっと明日の雪もしんしんと降る雪ではなく、風の付いた暴風雪だとちょっと厳しいかなというところで24日のオープンは恐らく延期になりそうな見込みでいるところです。29日から1月3日まで先生方の年末年始休業になります。この間は学校閉庁日ということで学校への連絡は休み明けにお願いしますということで、ここ数年実施をしてきておりますが、29、30、31、1、2、3日ということで、6日間のお休みになります。その後30日には役場の御用納めの日ということで、村長、教育長、訓示をいただいて翌日から年末年始休業に私達も入らせていただきます。1月5日までとなります。1月3日、今年から名称を変えて令和5年二十歳を祝う会ということで、交流センターにて20歳になられた方、なられる方。今年度20歳を迎えられる方々をご案内して、従来の成人式。内容はほとんど変わらない形にはなりますが、約二十数名参加が予定されております。こちらは縮小ということで実施をしますので委員さんの方々へのご案内については差し控えさせていただいておりますので、ご了承いただければと思います。1月6日、仕事始めになります。1月15日に小中学生書初め体験教室ということで、ここ3年目になります。学校での書き初めへの取り組みをやめて、社会教育事業ということで、実施をしているところです。参加がかなり好評といいますか10名程度のという定員で募集をしているんですけども、もう既に15名を超える参加者が来ております。道具の関係だったり指導者の目が行き届くかというところが叶えば増やしたいなどは思っているんですけども、残念ながらお断りする方、一応キャンセル待ちでお願いしますということで、お伝えはしているんですけどもそのような状況となっております。16日には鬼志別小学校が一足早く3月期を迎えます。18日には各学校で3月期が始まります。16日からナイタースキースクール計今年度は4回予定をしております。1月25日にはジュニアスキーバッチテストということで、こちらも実施を予定しております。後ほど説明をしたいと思います。1月26日次の教育委員会議なんです。前段で村長が主催する総合教育会議を実施をしたいということで考えているところです。ということで『協議事項』、この関係なんです。先ず協議の1つ目として『令和4年度第1回総合教育会議の開催について』ということで、通常14時からでしたが教育委員会議を引き続きを行いたいということで13時半から約1時間。そして、その後終了次第、定例教育委員会議ということで開催をさせていただきたいと考えております。まずこの総合教育会議、毎年の内容ではなく、2月

も予定をさせていただきたいと思うんですけども、先日の議会で議員さんの一般質問があったんですけども、長期的な視点に立った学校の在り方、配置を今のままずっとこう1年1年過ごすのではなく、考えたらどうだと、考えなさいという一般質問がありました。それを受けて教育委員さんとも意見を交わしながら方向性を定めてまいりたいというところで、村長の方から回答したところなんですけども、その中で、議題はこれに絞って、もう一つ報告も含めたものもあるんですけども、メインとしては今の小学校4校、中学校1校という配置での学校のあり方を今後7年間の児童生徒数の出生数から推計できる状況も資料としてありますので、まず現況として、それぞれの学校の児童数の変化見ていただきたいというところと、それを踏まえて今後あるべき姿、望ましい姿というところの御意見を教育委員さんの方々からもいただきたいというのがこの開催の主旨となっているところです。近隣では小中併設でしたり、宗谷管内ではないですけども、義務教育学校ということで、新しい学校の形は出来てはいるんですけども大体私が見るところでは、新しい学校の改築というか建替えに伴って、そういった新しいスタイルに移行するというところが主なところではあるんですけども。なかなか猿払村のこの地域が点在している状況を踏まえると、町に1校小学校と中学校がそれぞれあるという状況ではありませんので、じゃあ新しいところを目指していきましようかというところもなかなか簡単にはいかない。そういった場合には当然廃校、統廃合が伴ってしまうというところがあります。そういう形ではなくても、小中学校の一貫した教育というところでは色んな形がありますので、そちらもちょっとご紹介させていただきながら、今の小学校4校中学校1校という形について委員さんからご意見を頂ければなというところで会議を開催したいと考えているところです。ということで、1月26日のご予定も確認しないまま定例の会議の前段でその様な会議を実施させていただきたいという提案です。まず26日なんですけども、日程の方は大丈夫そうですかね？

○委員一同 : 大丈夫です。

○阿部教育次長 : よろしいですか。26日はとりあえず会議はやらさせていただきます。資料の内容等については26日になろうかと思いますが、その中で委員さんから率直にご意見を頂ければなというところで考えております。議員さんの一般質問の主旨では今回の12月議会の前に、3月議会でもあったんですけども、色々ところあちこち古くなってきて、修繕の予算がこう色々な小学校で今年も上げざるを得ないような状況ではあるけれども、そろそろどうなんだろうというところで、集約したらどうだと明言をされてはいませんでしたが、そのようなニュアンスとも感じたところではあるんですけど、そして今年の12月にそういったことをまず来年どうのこうのではなく、目指していくところをちゃんと考えてはどうだと、長期的に考えろというお話がありましたので、当面の児童数の状況を見ながら、方向性も少しお話し出来ればなと思っているところです。これまで統廃合、ここ20年ですと3校小学校統合されているんですけども、全ての学校で地域から統合を考えてくださいと、統合して下さいという要望書を受けて統合に向かっていったという現状ではありましたが、行政側から統廃合ということに関しては、恐らく拓心中学校を作った時くらいしか行われてはいないのではないかなと思います。ですので、そういった内容も含めて、どうあるべきか、どう進めていくのがいいのかなというところも率直にご意見を頂ければなと思っておりますので、ちょっと重たい話になるかなと思うんですけど、会議の主旨としてはその様なことを話し合いたいと思っているところです。

○松物委員 : 1月で教育委員会としての方向性を示すってということですか？

○阿部教育次長 : いや、そこまでは。1回で、村の学校の在り方をこうしようっていうよりは現状見据えた中で、意見集約ではないですけど、まず1回村長の考えだったり、教育長の考えだったり、それを踏まえて今後の児童数というところも見ただ中で、雰囲気じゃないですけど、方向性として猿払村はこれに向かっていきますっていうところを示したいっていうものを作りたいっていうところまでは考えてはいないです。もし、大幅な変化を伴うとすると恐らく5年がかりで

あったり、1年、2年では出来ない部分もあるかなと思いますので、うちの建物自体で言えば古いんですけど、建て替えを考えなきゃいけないほど古くはないという状態がありますので。新しいところでいくと、中頓別なんかが小学校も中学校もかなり古い学校の建替えに伴って幼小中一貫校を作るっていう感じで進んでいたり、稚内中学校ですかね。もの凄く古いんですけど、その改築に当たって中央小学校の敷地に渡り廊下で繋ぐ場所に建てて小中一貫校というような流れで進んでいるという現状があります。

- 西口所長 : 中頓、給食センターも併設するようです。
- 阿部教育次長 : ぎゅっと集約。給食センターもですか。
- 西口所長 : 給食センターは古いんで。
- 阿部教育次長 : うち並み？うちよりですか。
- 西口所長 : 何年か前に建て替えると話は出ていたんですけど、今の校舎の話になって一旦消えて、また復活した。
- 絵物委員 : 小学校1つですもんね。
- 阿部教育次長 : 中頓はそうですね。用意した内容については以上となります。委員さんから何かありましたらお受けしたいと思いますが。
- 絵物委員 : 一ついいですか。違う話しになるんですけども、高校ですね、〇〇高校の進学者がだいぶ減ってきているというお話があったんですけども、中学生が進路を決める時に色々な人の話し、親だったり友達の話しも聞くかもしれないですけども、先生の助言というのも結構影響力大きいかなと思うんです。これ過去の話なんですけども、ある先生が教室で、皆の前で勉強しなかったら〇〇高校だぞという様な発言をしていた。過去ですよ。今はそんな先生は居ないとは思いますが、ということもありましたので、先生一人一人ね、あなたは将来こういうことを希望しているんだからこの学校へ行った方がいいよとか1人1人に言うのであれば全然いいんですけども、なんかそれが一般論みたいな感じで皆の前で言っていたというそういうこともあったのは事実ですので、今はそんな先生はいないと思いますが、またそういう先生が出ないとも限らないので、気を付けて欲しいなと思います。
- 阿部教育次長 : 実際に、近い話しは私も、直接聞いたことはないんですけども、定員が割れて、という状況はもうここ何年来続いていますので、近い話を実は私も耳にしたことはありました。そこはやっぱり事実がどういう形がもしかすると歪曲してそういう言葉になった可能性もなきにしもあらずなんですけど、良くない部分があったとすれば、それは〇〇高校も、〇〇高校も定員割っている状況は変わらないので、実際に定員割っていると要は試験で落ちることはないみたいなことなのか、それをはっきり言ってしまったのか、言い方がちょっと分からないんですけどね。
- 絵物委員 : ま、2クラスあった時の話しです。
- 阿部教育次長 : 今、定員40人に対して30人超えていない年が続いていたと思いますので、
- 眞坂教育長 : 高校がある〇〇町の卒業生よりも実は猿払の卒業生の方が数多いんですよ。元は〇〇の子どもが圧倒的に多くて、半分くらいが〇〇高校っていう形が取れたんですけど、今は全然そういう状況じゃないので、今後の見込みとしても猿払の子の方が圧倒的に多いのがずっと続くんです。〇〇町のお子さんの方が少ないと。それでいて、これから継続していくためには相当な何かをしなければ高校は〇〇町から無くなっちゃうかなっていうそういう心配はしています。実はもう〇〇さんの息子さんの学年の子達も今年も1ケタ。〇〇に向かう子は1ケタって聞いてますし、何とかそれぞれで町村で努力してくれて言われてもなかなかね。やっぱり子ども達は子ども達でいろんな選択肢を求めるので、高校の部活で頑張りたいですとか、この高校へ行ってこの部分を伸ばしたいんだっていう部分があるとすれば、やっぱり管内の高校じゃそれがちょっと実現できないとすれば管外へ出てしまうというのが最近の傾向。圧倒的に強いんです。なかなか難しいところなんです。問題は。
- 絵物委員 : それぞれね、子ども達が自分こうしたいんだっていう思いがあって、行くのは当然、それはもうバックアップしてやらなきゃならないんですけど、あたかも

勉強しなかったら〇〇高校だぞとかそういう発言はそこに行こうとしている子ども達にしてみてもショックですしね。そんなことはもうないとは思いますが、気を付けなければならないなと思います。

○阿部教育次長：はい。その他いかがでしょうか。よろしいですか。

○委員一同：はい。

○阿部教育次長：それでは、訪問から長時間に渡りどうも今日はありがとうございました。閉じたいと思います。お疲れ様でした。

○真坂教育長：最後になりましたので、是非よいお年をお迎えください。ありがとうございました。

《終了》

